

☆キラリ☆ 教育活動に創意工夫を!

創意工夫のある取組や効果的な取組をしていらっしゃる学校を紹介するコーナーです。今回は、コミュニティ・スクールについて嬉野市立吉田小・中学校の取組を紹介します。

吉田小・中学校 ～コミュニティ・スクール～

1 吉田小・中学校コミュニティ・スクールの基本理念

学校・家庭・地域・行政が連携し、四者が一体になった教育を推進していくことを基本理念とする。

2 基本理念を実現するための3部会とその取組

学習支援・地域貢献部会

人材リストの活用、学校の地域貢献を支援



- ・ おもちゃまつりにご招待【小学2年生】
- ・ 名人さん(吉田で活躍する職業名人、スポーツ名人、女面浮立のみなさん等)との交流【小学3、4年生】
- ・ 米作り体験【小学5年生】
- ・ 家庭科の学習(裁縫、ミシン縫い)支援【小学5、6年生】
- ・ 辰祭りの手伝い(地域貢献)【小・中】
- ・ 読み聞かせ【小・中】
- ・ 郷土料理実習【中学生】



牛を育てる名人さんとの交流



名人さんとの交流会



辰祭りの手伝い



読み聞かせ

学校行事応援部会

地域・学校・家庭を結びつける行事の支援

- ・ 春遠足 ～吉田の史跡めぐり～
(地域の方による史跡の説明とクイズの出題)
- ・ ラジオ体操全地区実施
(児童生徒、保護者、地域の方々)
- ・ 駅伝、マラソン大会 (地域の方々がコースで安全見守りと応援)



春遠足



ラジオ体操



駅伝、マラソン大会

広報部会

「結の子通信」発行の計画や構成

- ・ 「結の子通信」を年に4回発行
- ・ 取組や活動を、校内掲示板と吉田公民館内掲示板に掲示、吉田地区全戸に配布



結の子通信



行事の様子を紹介した
公民館の掲示物

3 取組の紹介 ～小学5年生の稲刈り～

地域の方から田を借りて、小学5年生が米作り体験をしています。稲刈りでは、吉田おうんたい(ピンクのタスキが目印)の方々に協力してもらっていました。



稲を刈る前に、JAや吉田おうんたいの方が、田植えで植えた3、4本の苗が、30本近くになっていることや、1本の稲から70～100粒の米が実っていることを、実際に見せながら教えてくださいました。



稲刈りを経験したことがある児童も、束ねた稲をわらで縛るのには悪戦苦闘。吉田おうんたいの方のアドバイスののおかげでだんだん上手になっていきました。

児童の感想から(一部抜粋)

- 吉田おうんたいの方々におそわりながら、しっかり稲刈りをする事ができてよかったです。刈るのも大変だったけど、わらで結ぶのもむずかしかったです。なぜかという、稲をすばやくしっかり結んで運ばなければいけなかったからです。もち米を自分たちでおもちにして、お世話になったJAの〇〇さんや吉田おうんたいの方々と食べたいです。
- 田植えをしたなえが、成長して、稲1本から米が70～100つぶできることが分かりました。稲刈りはかんたんだと思っていたけど、思い通りにはいかなかったから大変でした。でも、JAの〇〇さんの教え方が分かりやすく、さっさとできるようになりました。ぼくは、このもち米を吉田おうんたいの人といっしょに食べたいです。

吉田おうんたいは、吉田小・中学校をバックアップするために3年前に立ち上がりました。現在136名で、全員にピンクのタスキが配布されています。学校がコミュニティ・スクールの会長さんに支援を依頼すると、ニーズに合わせて支援者を紹介してくださいます。学校や先生が人材を探さなくてよいことはありがたいことです。

子供たちは、支援者と関わりながら教師だけでは実現できない学びを得ることができますし、支援者は喜んで子供と関わっていらっしやいます。吉田小・中学校は、コミュニティ・スクールを通して「地域で子供を育てる」ことを実現していらっしやると感じました。

